

## 堺市南区政策会議 安全安心創出・未来共創推進部会 質問事項

## ○10月4日安全安心創出・未来共創推進部会

質問	回答
一般的な避難所と福祉避難所の違いについて	一般的な避難所（指定避難所に位置付けられている避難所）は、風水害発生時には小学校が、地震災害時には小学校に加えて中学校や高校が指定避難所として指定されており、避難対象は被災住民その他の被災者とされている。 一方、福祉避難所は、市内に市災害対策本部が設置されるような災害が発生した場合に、必要に応じて、事前に協定を締結する社会福祉施設等に設置する避難所で、要配慮者のうち特別な配慮を要する方を滞在させることを想定した避難所。
各校区の自主防災組織の現状について	堺市では、自治連合協議会単位で、自主防災組織が設置されている。南区においては、現在、19校区（地区）に自主防災組織が設置されている。
南区の防災士の数	南区役所で把握している各校区（地区）における防災士の人数は約100名です。
防災士のネットワーク会議等を開催の有無	南区役所が主体となった防災士のネットワーク会議体はないが、研修会などを通じてスキルアップの向上を進めている。 防災士のネットワークとしては、防災士の資格を有する有志で構成された特定非営利活動法人の日本防災士会がある。 日本防災士会は都道府県単位に支部があり、防災講演、シンポジウム等の活動を行っている。
福祉避難所の開設訓練の具体的な内容	別添資料「福祉避難所の開設・運営について」を参照下さい。
地域の中で要配慮の人たちが、どこにどれだけいるか、どの程度把握できているのか、今後どういうふうに考えられているか	南区における避難行動要支援者は約12,000人です。 この内、対象者の方から、地域の皆様に、ご自身の状況をお伝えしてよいとお答えされている方は約3,800人です。 現在、国から地方自治体に、努力義務として、避難行動要支援者の個別避難シート作成の通知がきており、今後、どのように対応してくか検討中です。

○8月19日プレ会議

質問	回答
<p>フラッグシップモデルにいう「あたらしい避難所」とは、具体的にどういった施設がイメージされているのか</p>	<p>「あたらしい避難所」とは、区域の災害特性や感染症対策を踏まえた避難所のことです。</p> <p>南区の災害特性としては土砂災害があげられる。</p> <p>土砂災害警戒区域では、指定避難所に加え、地域の皆様の協力により「共助の避難場所」が設置される。</p> <p>風水害発生時や地震災害時には、小学校、中学校や高校に加え、共助の避難場所が設置される。</p> <p>また、感染症対策として、一般的には「①避難者受付時に体温測定・受付チェックシートの回収等を行う、②体育館においては、1人あたり約4㎡(2m×2m)のスペースを確保する、他の世帯とはソーシャルディスタンス(社会的距離を保つ)、定期的な換気などを行う、③体調が優れない方の避難スペースの確保、④消毒液等など衛生用品の準備等が出来ている避難所」としてイメージしている。</p> <p>災害特性や感染症の状況により対策が異なってくるため、発生時期に合わせて、在宅避難をはじめ感染状況に応じた避難の形を「あたらしい避難所」としてイメージしている。</p>
<p>堺市には、多言語の防災パンフレットはありますが、障害者など弱い立場にある人たちをサポートする体制や施策は、今どの程度まで確立しているのか</p>	<p>堺市では「外国人市民のための防災ハンドブック」を作成している。</p> <p>言語としては、日本語版、英語版、中国語版、韓国・朝鮮語版、スペイン語版、ポルトガル語版、ベトナム語版、やさしい日本語版が作成されている。</p> <p>障害者など要配慮者へのサポートについては、令和3年に「安心の第一歩～要配慮者・避難行動要支援者の支援に向けて～」という冊子が作成されている。</p>
<p>「次世代の地域人材育成」として、どのような既存の枠組みを想定しているのか、もしくは、何かあらたに仕組みを整えたいということなのか、具体的なイメージを知りたい</p>	<p>現在、自治会においては、人口減少・高齢化の進展により、次世代の担い手不足が懸念されている。</p> <p>防災分野においては、各校区(地区)において、自主防災組織が中心的な役割を担うが、防災士資格取得のサポート等により、次世代担い手を育成することをイメージしている。</p>
<p>堺市内の浸水域・湛水域の避難者を受け入れることは、「あたらしい避難所」のコンセプトに含まれているか</p>	<p>堺市内の浸水域・湛水域の避難者については、風水害発生時には小学校に避難されることになっている。</p> <p>この場合の避難所については、「あたらしい避難所」のコンセプトに含まれている。</p>
<p>「福祉避難所」や「福祉避難スペース」の充実度等について</p>	<p>現在、南区において、福祉避難所として20カ所指定されている。</p> <p>別添資料「福祉避難所一覧表」を参照下さい。</p> <p>福祉避難所の避難スペースは、個々の避難所によって違いがあるが、一般的には、通常の避難所より広めの避難スペースとなっている。</p>
<p>コミュニティにおける「自主防災組織」の設置度・充実度はいかほどか</p>	<p>堺市内の各小学校区を中心に自主防災組織が設置されており、南区においては19校区(地区)に自主防災組織が設置されている。</p>